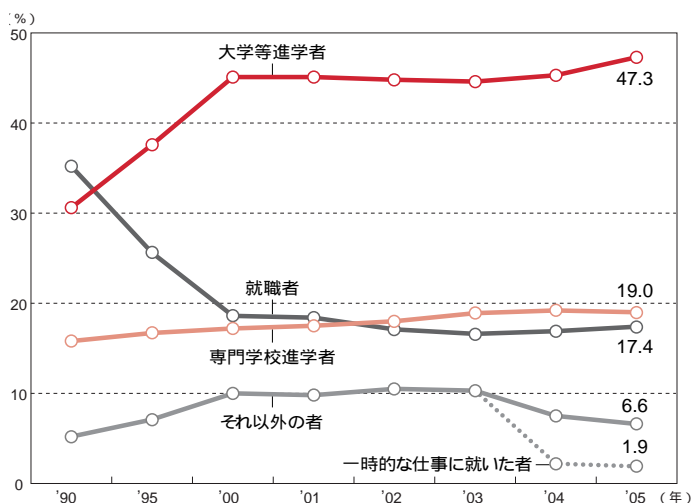


高校生の進路状況

10年前は4割に満たなかった大学進学率が今や5割に迫る勢いだ。一方の就職率は低下が続いていたが、この数年は専門学科を中心に盛り返しも見られる。

#01 高卒後の進路の変化

大学等進学率が05年は過去最高



2005年3月の高校卒業者数は前年より約3万人少ない120万2738人。そのうち大学等へ進学した者は47.3%で、過去最高を更新した。また就職率も前年より0.5ポイント高く、2年連続の微増となった。一方、アルバイトやパートなど「一時的な仕事に就いた者」は1.9%、進学も就職もしない「それ以外の者」は6.6%で、どちらも前年よりわずかに減少している。

文部科学省「学校基本調査」
04年から「一時的な仕事に就いた者」を調査開始
「それ以外の者」には家事手伝い、海外進学、進路未定が含まれる

#02 高校学科別 大学等進学率と就職率

水産・工業・農業で目立つ就職率アップ

高校学科	大学等進学率			就職率		
	04年 (%)	05年 (%)	増減	04年 (%)	05年 (%)	増減
普通	53.1	55.4	2.3	8.5	8.8	0.3
農業	13.0	13.2	0.2	49.0	50.1	1.1
工業	17.1	16.9	0.2	52.1	54.0	1.9
商業	21.5	21.4	0.1	40.2	40.8	0.6
水産	14.0	12.7	1.3	57.7	60.5	2.8
家庭	20.2	21.2	1.0	36.6	36.5	0.1
看護	48.2	79.8	31.6	14.7	7.5	7.2
その他	59.3	60.9	1.6	8.6	9.3	0.7
総合学科	30.1	31.7	1.6	25.8	25.6	0.2

高校の学科別に進路状況を見ると、大学等進学率は普通科で55.4%。工業や商業などの専門学科でも2割前後と、大学進学が一般的になっている。2005年を前年と比べると、普通科を中心に大学等進学率を伸ばしている。特に5年制への移行が進む看護学科は伸びが著しい。就職率については、水産・工業・農業での上昇が目立つ。

文部科学省「学校基本調査」